

千葉県循環器病対策推進協議会 令和3年度第1回総会 開催結果

1 日時 令和3年8月26日（木） 午後3時から午後4時15分まで

2 開催方法 オンライン開催

3 出席委員

（委員：総数19名中18名出席）

本宮委員、武山委員、中村（由明）委員、別所委員、小林（英一）委員、古口委員、小林（欣夫）委員、中村（文隆）委員、松宮委員、小林（士郎）委員、松村委員、立野委員、寺口委員、浅野委員、大上委員、田中委員、金江委員、大野委員
（順不同）

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 保健医療担当部長挨拶
- (3) 会長選出
- (4) 議事
 - ア 千葉県循環器病対策推進計画の策定方針について
 - イ 令和3年度循環器病対策実態調査について
 - ウ 部会の設置について
 - エ その他
- (5) 閉会

5 会議概要

会長選出

委員より千葉県医師会 金江委員（千葉県医師会副会長）が推薦され賛成多数で可決された。

議事 意見・質疑応答

○千葉県循環器病対策推進計画の策定方針に関する主な意見について

- ・各医療圏間の連携、脳卒中・循環器病の地域の偏在化といった問題をよく検討してほしい。
- ・一般住民への啓発や、学校教育現場への啓発等、長期的な啓蒙活動についても検討いただきたい。
- ・目に見える結果の指標を設定し、検証していくことが重要である。その際には、健康寿命の延伸等だけではなく、疾病の発生率についても採用することも検討してほしい。
- ・移行期医療に関係する患者さんや先天性心疾患の患者さんについては、医療機関の情報や経済状況等、社会福祉的な取組と繋がることのできるかが大きな問題としてあげられている。実態を把握して対応を検討して欲しい。

- ・回復期以外でもリハビリを行っており、生活期のリハビリも重要となってくることから、「リハビリ＝回復期」というイメージとならないよう表現を工夫してほしい。また、実態を把握して方針を検討してほしい。

○令和3年度循環器病対策実態調査に関する主な意見について

- ・循環器学会で実施している調査や日本心血管インターベンション学会で実施している調査等があるため、そういった既存調査結果も活用することも検討してほしい。
- ・「在宅復帰率」や「t-PA や血栓回収療法を受けた患者の90日後のmRS（患者状況）」の確認を行い、治療の効果についても確認してほしい。
- ・医療機関における夜間救急の実際の受入可能能力について把握できないか検討してほしい。
- ・夜間救急の受入状況を確認する際に、その時の個別の状況で受け入れられないこともあるため、個別事案の断った数を見るのではなく、誤解のない形で確認できないか。

○部会の設置に関する主な意見について

- ・事務局において部会員案を検討し、今後会長と相談し決定する旨を説明し了解を得た。

6 閉会 午後4時15分